

平成 17 年 1 月 25 日 記者会見 会頭発言要旨

時事の話題

昨年は多くの台風上陸や新潟県中越地震に続き、年末にはスマトラ沖地震と未曾有の災害に見舞われた年だ。犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、京都商工会議所としても議員企業から義援金を募っている。

また、2003年の秋頃からようやく上向き始めた日本経済は、昨秋から足踏み状態にある。今後懸念される様々な問題はあるが、内需主導の持続的な回復を期待したい。

京都商工会議所の動き

京都商工会議所は、17年度も「産学連携の促進」「観光の振興」「京都ブランドの構築」という3つの柱を中心に事業活動を展開し、京都経済の活性化に努める。

サミットの誘致について

2008年には、日本で5回目となるサミットが開催される。世界の人々に京都の良さを知っていただくよい機会なので、各機関と連携しつつ京都へのサミット誘致を進めていきたい。尚、誘致を表明された大阪とも協議・連携し、関西への誘致を図っていききたいと考えているが、首脳会議はぜひ京都で開催してもらいたい。

京都検定について

昨年12月に初めて実施した京都・観光文化検定試験の施行結果が出た。

| | 受験者数 | 合格者 | 合格率 |
|----|--------|--------|-------|
| 2級 | 3,867名 | 1,150名 | 29.7% |
| 3級 | 5,934名 | 2,526名 | 42.5% |

- ・職業別合格者数は2級3級ともに主婦・シニアが最も多く、次に運輸・通信業（タクシー運転）、サービス業（ホテル、旅館等）と続いた。
- ・第2回は平成17年12月11日（日）に実施予定。

合格率は、年齢が上がるとともに高くなっており、特に京都に長年住んでお

られる方々は、京都の歴史や文化、しきたり等を生活の中で自然に理解されているのだと思う。

記者からの質問事項

サンガスタジアムについて

大勢の人々にサッカー、京都パープルサンガに興味を持ってもらい、まち全体で盛り上げる力が重要になってくる。スタジアム建設後の事業主体が、どこになるのかが大きな問題。今後建設に向けて、府・市とも協議し前向きに検討を進めていきたい。

以上